

Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォームフォーム電話機での匿名コールのブロック

目的

Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォーム電話で匿名コールをブロックすると、発信者情報を表示しない着信コールをフィルタリングできます。有効にすると、特定のコールが自動的に拒否されます。

この記事では、Webベースのユーティリティと電話機のGUIを使用して、Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォームで匿名コールブロッキングを有効にする方法について説明します。

該当するデバイス | ファームウェアバージョン

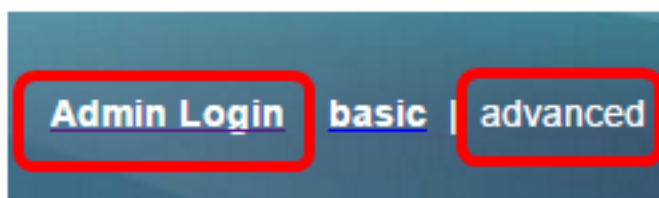
- IP 電話 8800 シリーズ | 11.0.1(最新バージョンを[ダウンロード](#))

この記事で参照されている8800シリーズの電話機は、特定のコールコントローラを使用するエンタープライズ電話機ではありません。2種類の電話機を比較する場合は、「[比較とコントラスト: Cisco IP MPP PhoneおよびCisco Unified IP Phone](#)」。

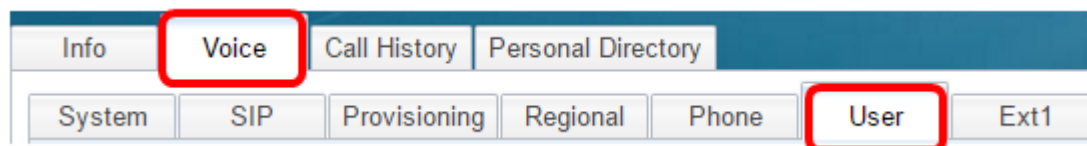
匿名コールのブロック

Webベースのユーティリティを使用

ステップ1: IP PhoneのWebベースユーティリティにログインし、[Admin Login] > [advanced]をクリックします。



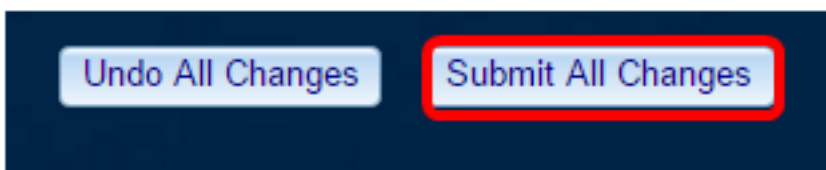
ステップ2: [Voice] > [User] をクリックします。



ステップ3: [Supplementary Services]で、[Block ANC Setting]ドロップダウンメニューから[Yes]を選択します。

CW Setting:	Yes	▼
Block ANC Setting:	Yes	▼
Secure Call Setting:	No	▼
Auto Answer Page:	Yes	▼
Time Format:	12hr	▼
Miss Call Shortcut:	No	▼
Alert Tone Off:	No	▼
Log Missed Calls for EXT 2:	Yes	▼
Log Missed Calls for EXT 4:	Yes	▼
Log Missed Calls for EXT 6:	Yes	▼
Log Missed Calls for EXT 8:	Yes	▼
Log Missed Calls for EXT 10:	Yes	▼

ステップ4:[Submit All Changes] をクリックします。



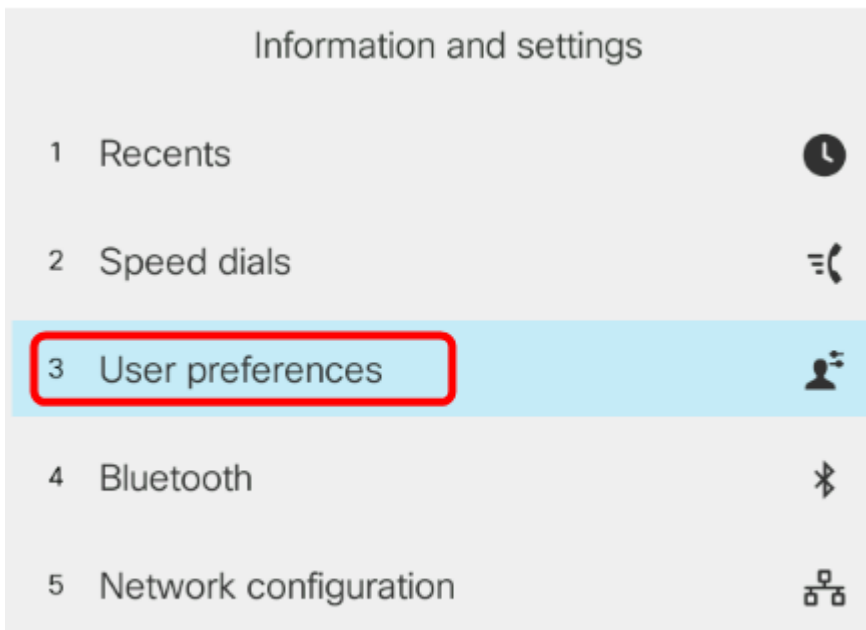
これで、Webベースのユーティリティを使用して、電話機の匿名呼び出しが正常にブロックされました。

電話機のGUIを使用する

ステップ1:IP Phoneの[Applications] ボタンを押します。



ステップ2:[Navigation cluster]ボタンを使用して、[User preferences] に移動し、[Select] ソフトキーを押します。



Select

ステップ3:[Call preferences] を選択し、[Select] ソフトキーを押します。

User preferences


1 Call preferences

2 Audio preferences

3 Screen preferences

4 Attendant console preferences

Select

ステップ4:[Block] 匿名コールに移動し、ナビゲーションクラスターの右ボタンを押し  て[On]に設定します。

Call preferences

Fwd no answer number

Fwd no answer delay

Voice mail

Block caller ID

Off

Block anonymous call

On

ステップ5:[Set] ソフトキーを押します。

Call preferences

Fwd no answer number

Fwd no answer delay

Voice mail

Block caller ID Off

Block anonymous call On

Set

これで、GUIを使用して電話機で匿名コールブロッキングが有効になりました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。